

市政に対する

一般質問



スマートフォン
の操作が
苦手な高齢者への支援は

公明党 井上 賢二

●高齢者支援について

Q デジタル化が加速する中、スマートフォンの操作が苦手な高齢者への支援は。

A 高齢者社会参加促進事業で、利用方法などの講座を開催する準備を進めている。

Q 開催を予定している講座の規模や具体的な内容は。

A 内容は検討中だが、スマートフォンなどを利用したことがない高齢者を対象に50人程度で複数回開催したい。

●オンライン学習と不登校対策、教職員の働き方改革について

Q 情報通信技術(ICT)を活用した、オンライン学習の出席扱いはどうなるか。

A 不登校の児童・生徒がICTを活用した学習活動を行った場合、一定の要件を満たした上で、校長の判断で出席扱いできるとされている。

Q 市では、不登校の児童・生徒が自宅でオンライン授業を受けることはできないか。

A 活用に向けた準備を進めているが、児童・生徒の気持ちなども重要であるため、今後、慎重に研究を進めたい。

Q ヤングケアラー対策について家族の世話をどう行う



バラ園再整備を契機とした
新たなまちづくりに向けて

あやせ未来会議 安藤多恵子

●「あやせバラのまちづくり」を目指して

Q 光綾公園のバラ園再整備を契機に、バラを主人公にした新たなまちづくりを戦略的に進めていかないか。

A バラ園が市の新しい顔



6月25日から27日まで、新型コロナウイルス感染防止対策を講じて、「平和展」が開催されました。市役所7階市民展示ホールにて。

子どもである、ヤングケアラーの現状を踏まえ、課題と対応をどう考えているか。
A 子どもが相談できる環境づくりが重要と考える。教職員への研修などでヤングケアラーへの認識を高めたい。

Q 未来を担うあやせっ子のトップリーダーとして、教育行政をどう進めていくか。
A 学校は、子どもたちの個性が尊重され、全ての人に受け入れられ、認められる温かい場所になるべきと考える。子どもたちがお互いを認め、尊重し合う関係がつけられる、温かい場所にしていく。

Q コロナ禍でのスポーツ推進について
A コロナ禍の影響で運動不足の方が多数見受けられるが、密を控えたライブステージに合わせたスポーツ活動の推進にどう取り組んでいるか。
A スポーツ施設は、利用人員縮小などの感染防止対策を図り、開館している。誰でも気軽にできる運動としてウォーキングを推奨し、スポーツによる心身の健康保持ができるよう取り組んでいる。

Q 前市長が、市民プールを計画したいと議会で述べていたが、無くなったのか。
A 高座清掃施設組合屋内プールを活用しているため、構想はないが、市民ニーズなどを注視し、今後検討する。

Q 市内学校のプールの在り方について
A 人口減少などにより、厳しい財政状況が予想される。小・中学校のプール改修工事などには多額の予算が見込まれるが、現状と課題は。
A 耐用年数前にプール槽に穴が開き、改修する事例も発生している。老朽化により、施設維持に多大な経費を要することが課題である。

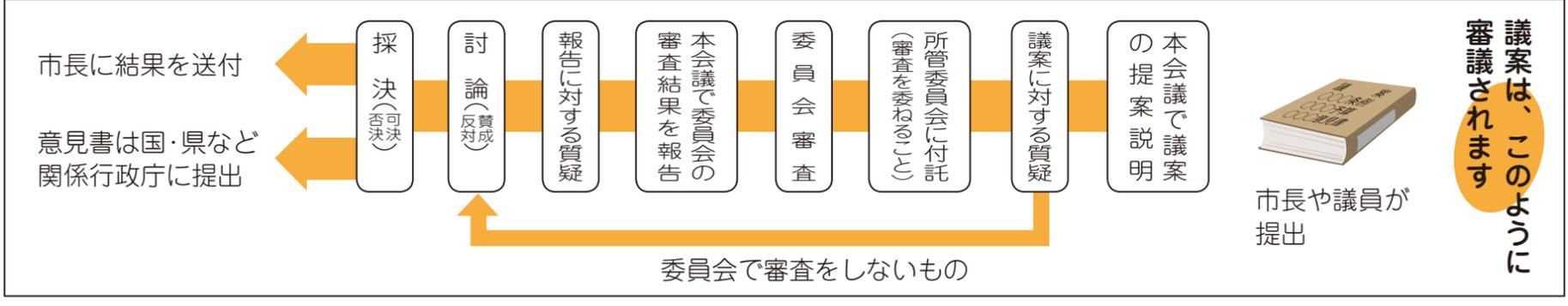
一般質問は、提出された議案にかかわらず、市政全般に対して、議員が執行者の考え方をたずねることができるものです。6月定例会では、6月15日・16日の本会議で14人の議員から質問が行われ、論議が繰り広げられました。以下は質問・答弁の概要です(掲載は質問順、5ページまで続きます)。



コロナ禍でもスポーツ活動を
推進し心身の健康保持を

創政会 青柳 慎

詳しい内容は会議録・HPで
市議会だよりは、紙面の都合で発言の一部を掲載しています。詳しくは、市役所内情報公開コーナー、市立図書館、市議会に備えてある会議録をご覧ください。また、インターネットでも、会議録の閲覧や検索ができます。
なお、6月定例会の会議録は、8月下旬に閲覧できる予定です。



議案は、このように
審議されます

委員会で審査をしないもの